

ICT 実践報告

指導形態：生活単元学習 造形

授業のねらい

学習の手順を自ら確認し、見通しをもって活動に参加することができる。

使用アプリ：Keynote、TASUC スケジュール

具体的な活用場面



造形活動で全体への学習の提示とは別に個別の提示を行った。事前製作の様子を動画に撮影し、具体的な説明とともに動画での確認を主に行い、自ら活動を進められるように支援した。TASUC スケジュールを使用した場合は、枠が決まっているので、より見やすく、見通しを持って活動に参加している様子が見られた。

成果と課題

動画で自ら何度も確認できることで、取り組む内容に安心感をもって取り組む様子が見られた。

日常的にスケジュールアプリを使用している児童については、学習内容の提示もおなじアプリを使えると、認知しやすいことが多い。

Keynoteの方が汎用性があるかと思われるが、どこに注目するのかを明確に提示する必要があるように思う。